

近藤 晃教授の略歴および業績

1928年 8月24日生

学 歴

- 1945年 4月 東京都立高等学校高等科（旧制）文科入学
- 1945年 4月 海軍兵学校入学（同高等学校退学）
- 1945年10月 終戦により同高等学校に復学
- 1948年 3月 同高等学校卒業
- 1949年 4月 立教大学経済学部経済学科（新制）第3学年に入学
- 1951年 3月 同大学卒業
- 1951年 4月 立教大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1953年 3月 同大学・同大学院修了
- 1955年 4月 立教大学大学院経済学研究科博士課程経済政策専攻入学
- 1958年 3月 同大学・同大学院所定単位取得退学（満期退学）

職 歴

- 1951年11月 立教大学経済学部副手
- 1953年 4月 立教大学経済学部助手
- 1956年 4月 立教大学経済学部専任講師
- 1959年 4月 立教大学経済学部助教授
- 1970年 4月 立教大学経済学部教授
- 1973年 4月 立教大学経済学部経営学科長（1975年 3月まで）
- 1979年 4月 立教大学経済学部経済学科長（1981年 3月まで）
- 1987年 4月 立教大学大学院経済学研究科博士課程後期課程主任（1989年 3月まで）
- 1994年 3月 立教大学定年退職

学 位

- 1994年 3月 博士（経済学・立教大学）

学会および社会における活動

社会経済史学会，土地制度史学会，経営史学会，日本西洋史学会，市場史学会，イギリス中世史学会，鉄道史学会，Economic History Society，The Past & Present Society，The British Agricultural History Society，日英協会

研究業績

編著

1. 『市民社会の経済構造』（高橋幸八郎・安藤良雄と共編）有斐閣，1972年9月
2. 『近代化の構図——イギリス・ドイツ・日本——』文献出版，1991年11月

論文

1. 「信州製糸業における『マニファクチュア』の成立」
（『立教経済学研究』第5巻第2号，1952年2月）
2. 「自由な小農の誕生」
（松田智雄編『近代社会の形成』要書房，1954年12月）
3. 「ジョージ・ホスキンス——16, 7世紀のイギリス・ヨーマン——」
（松田智雄・大塚久雄編『巨富への道』中央公論社，1955年7月）
4. 「いわゆる『最盛期』にみるイギリス・マナーの流通機構——『運搬賦役』を中心として——」
（『立教経済学研究』第9巻第2号，1956年1月）
5. 「13世紀イングランドにおける羊毛輸出貿易とその基盤——封建的市場構造 [=前期] 把握への一操作——」
（『立教経済学研究』第12巻第4号，第13巻第2号，1959年3月・10月）
6. 「遠隔地貿易と商業諸都市」
（大塚久雄編『西洋経済史講座』第1巻，松田智雄編「封建制の経済的基礎」岩波書店，1960年5月）
7. 「イギリス・マナー解体期における『雇傭労働力』の存在形態——グロスターシャー『人頭税徴集記録』（1381年）の分析——」
（高橋幸八郎・古島敏雄編『近代化の経済的基礎』岩波書店，1968年4月）
8. 「マナー体制解体期における農村市場の展開——レスターシャー『人頭税徴集記録』（1381年）の分析——」
（イギリス中世史研究会編『イギリス封建社会の研究』山川出版社，1970年1月）
9. 「14世紀ウルトシャーにおける『職業』の生成と展開」
（イギリス中世史研究会編『イギリス中世社会の研究』山川出版社，1985年2月）
10. 「『西イングランド』における農村市場の生成」
（市場史研究会編『市場史研究』第5号，1988年2月）

書評

1. 「ロドニイ・H・ヒルトン『14, 5世紀におけるレスターシャー所領の経済的發展』」
（『立教経済学研究』第7巻第1号，1953年10月）
2. 「M・モーガン『ベック修道院のイングランド所領』」

(『立教経済学研究』第8巻第2号, 1954年12月)

3. 「M・E・キャラス・ウィルソン『中世のマーチャント・ヴェンチュアラーズ』」

(『立教経済学研究』第10巻第2号, 1956年11月)

研究動向

1. 「12世紀の『金納化』問題——ポスタンとレナードの論争を中心として——(1)(2)」

(『立教経済学研究』第10巻第3号, 第11巻第2号, 1957年2月, 11月)

2. 「イギリス農村工業の成立とその史料——キャラス・ウィルソンの近業によせて——」

(『立教経済学研究』第14巻第3号, 1960年12月)

その他